

幼稚園の園藝として栽培し易き「マガレット」に付て

在鎌倉 膳 眞規子

幼児教育の上に、園藝の最も興味深くして有益なる事は今更申述ぶる必要は御座いませぬが、最初に興味なき者も一度これを實行して手がけます時は、其自然の發育状態を見て興味を持つ様になり、先づ一粒の種が發芽してこれがよく發成し蕾をもち開花し實の一つも結ぶ様になりました時の喜びは、とでもとても愉快なもので御座います。又一本の草花でも我園にて手がけて培養したものは殊に嬉しく感ぜられます。花瓶にさし入れても樂しみ深く、優良なる感情に咽びます。斯くして度々此様な場合を繰り返します事より、幼児の心も知らず識らず、自然の偉大なる教訓を感じ、一本

の草花も愛情を以てよく世話をいたします事は、實際幼児と一緒に園藝をいたして居ります都度目撃いたします事で、涙ぐまるゝ迄に感じさせられますので御座います。

此園藝をいたしますも幼児本位にいたします事とて成るべく栽培し易きものを選び、要するに培養し易く花も持ち易く其上花時期の長きものを用ひんと種々試みました中で、一番世話のなし易くして花時の長き「マガレット」を選びました。

私は大都市の最も園の設備も又庭園も不充分的な園に長く居りましたので、一層此園藝の必要を感じまして随分苦心努力をいたしました。が、此努力の甲斐が御座いましてよく發育いたしました時の愉快さは今尙忘れる事が出来ません。

明治二十一年の一月の中旬頃、幼児の家より温室で培養せられた「マガレット」の五寸鉢に植ゑて蕾が七八ツ出来て居りますものを戴きました。が其頃此名がわかりませんので尋ねましたら「マガレ

ツド」と教へて下さいました。寒中の花の少なき時で御座いますので、本當に嬉しく存じまして幼児と共に氣持よく眺めて居りました。一月の末頃には蕾がだんだんと開いて來まして、二月の上旬には悉皆咲き揃ひまして美しく、此蕾が開きます毎に、幼兒は又咲いたさいたと興味を以て見て居ります。

三月の中旬頃には最早花壇におろしてもよきの事で、咲き揃ひました花は全部切り花にして狭き花壇に移植いたしました。此移植の成績は如何と思ひましたが、一週間程は餘程衰へて居りましたが、十日程経ますと日増に元氣になつて來まして、四月の上旬頃には葉の許より新芽が澤山出て來て僅の間に非常に成長いたしました。其新芽には何れも多くの蕾が見えて參りまして、四月の末には花盛りになりました。花は切り花として食卓上や室の裝飾にいたしました。なかなか美しい事で御座いました。花は切ります程新芽が出來まして其處に蕾を持ち次へ次へと咲き出します。五月六

月最も盛に咲き出て、七月の中頃より花の軸も漸く短くなり又花も少なくなり、八月は殆んど花なく、次第に枝が蔓りまして其葉が又青々として美しきもので御座います。九月になりましたから少しく花が咲き出しましたが、春の様には咲きません。併し幹はだんぐと繁茂しまして、新芽が立派に出て參りました。

秋の彼岸前にこれをさし芽する事がよいと教へてもらひまして、新芽を上より二三寸の處より斜によく切れる剪刀で切り、砂を入れた箱又は鉢にさします。斯くして二三日は日蔭に置いて水をかけ、其後はあまり日光の強くなき場處に毎日水をよくかけて二週間いたしますと白き根が出來てたやすく育ちます。寒氣を恐れます草花で御座いますから成るべく霜のわからぬ處葉を覆としておかけ、フレイム又は温室又は南受けの椽の下に入れて時々暖き日に水をやり斯くして、三月の初頃に又花壇又は庭園に出して栽培いたします。

一本の親木よりさし芽が七八本より百本位は

たやすく採れまゝ繁殖多き世話のかからぬ草花で御座います。「此マガレット」は花白く高尚で葉も美しく開花期長く、温室なれば年中咲いて居ります。さし芽のものは三月頃より四五六七位までよく咲き、花を切れば次へ次へと新芽から枝が出て蕾をもち、都市幼稚園の園藝として誠に適切なもので御座います。在職中は趣味を共にする知人又は幼児の家庭へも随分と分配いたし、又引退後は嵯峨の宅へも持ち歸り自分の花壇は申迄もなく本家又は隣の花壇へも移して何れもよく發育いたしまして花時には其庭園の一隅を立派に飾つて居ります。

昨年より由比ヶ濱のほとりに參つて居りますが海岸の事とて庭園凡て砂地、近くの草花屋より小さき挿芽の三寸鉢植の「マガレット」を求めてこれには四五輪の蕾を持つて居りました。最初は室内で眺めて居りました。三月の初めに花壇に降しました。四月頃よりメキメキとよく發育して來て澤山な蕾を持ちてなかなか立派に育つて參りました。

た。五六七八月は實に美事に花が咲き揃ひまして、毎日毎日切り花にいたしまして東京の宅へも持つて參りました唯一本の親木で地質のよく適したものと見え實によく發育いたしました。次に九月の彼岸前によき芽を切りて、古き箱や鉢に百數十本さし芽して、箱の分は椽ノ下鉢の分は温室に入れて置きましたが、兩方共に寒氣に堪えまして青々として立派に發育して居ります。温室の分は何れも蕾が出て來ました。椽の下の方も固き蕾を持つて來ました。春の彼岸前後には花壇又は庭園の諸處に移植いたしまして、花咲く頃には家人と共に觀賞せん事を今より楽しんで居ります。

以上申述べました「マガレット」は何れの方も御承知の事とは存じますが、幼稚園で園藝をなさいますには至てたやすく栽培が出來まして、其上花時が長く繁殖もたやすく、花葉共にやさしき草花で御座います。私の長き年月の幼稚園園藝に付て苦心いたしました此一番栽培し易き草花につきて拙き筆を省みず申上りました。